

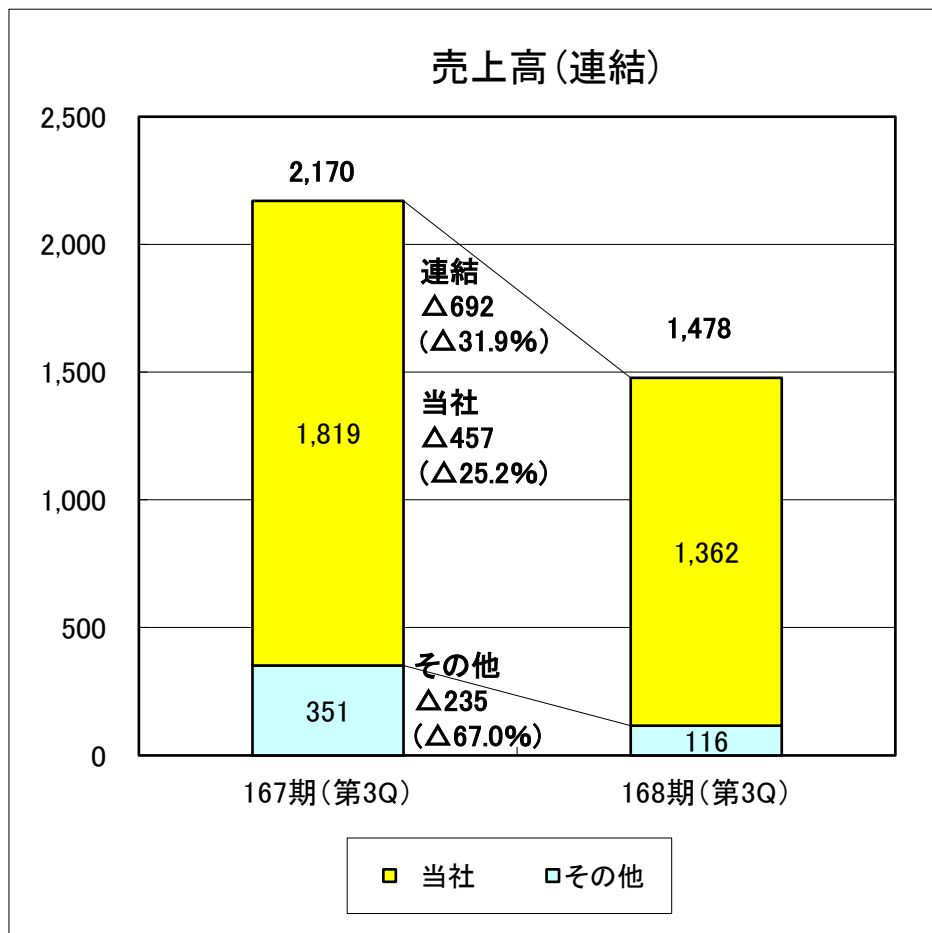
中期経営計画

「REBORN2023」の進捗状況

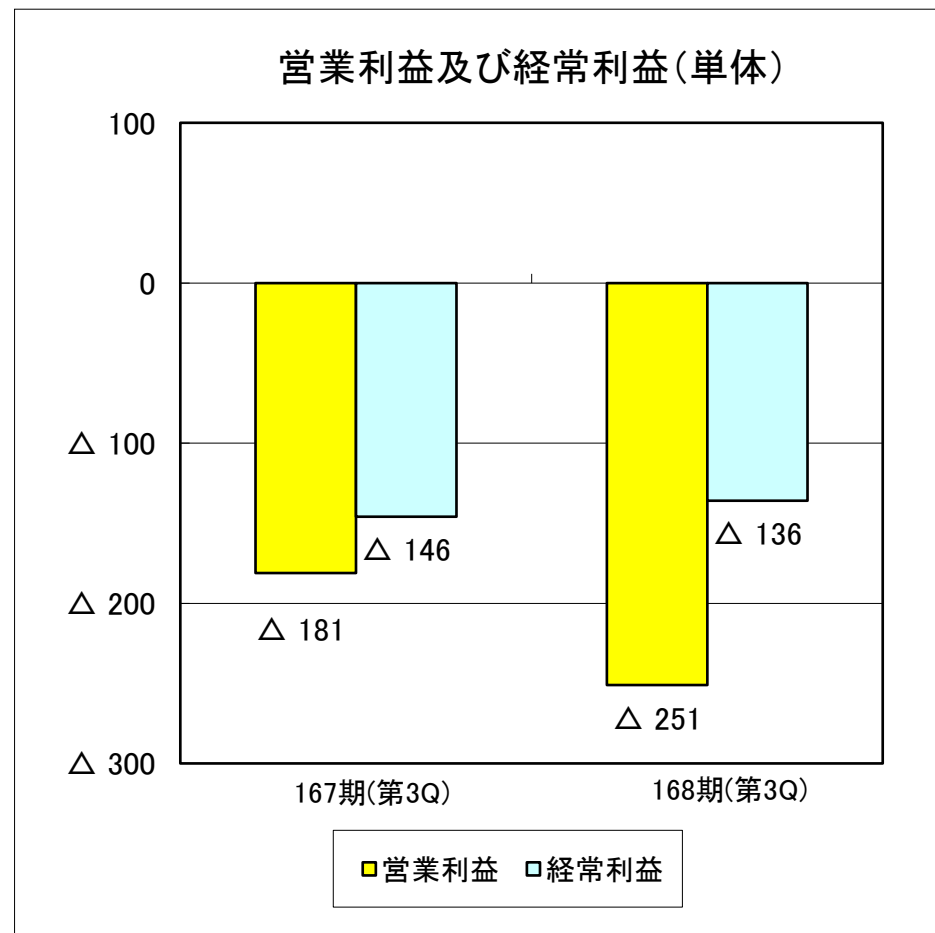
2021年2月12日

①売上高(連結)と営業利益及び経常利益(単体)の前期比較

(単位:百万円)

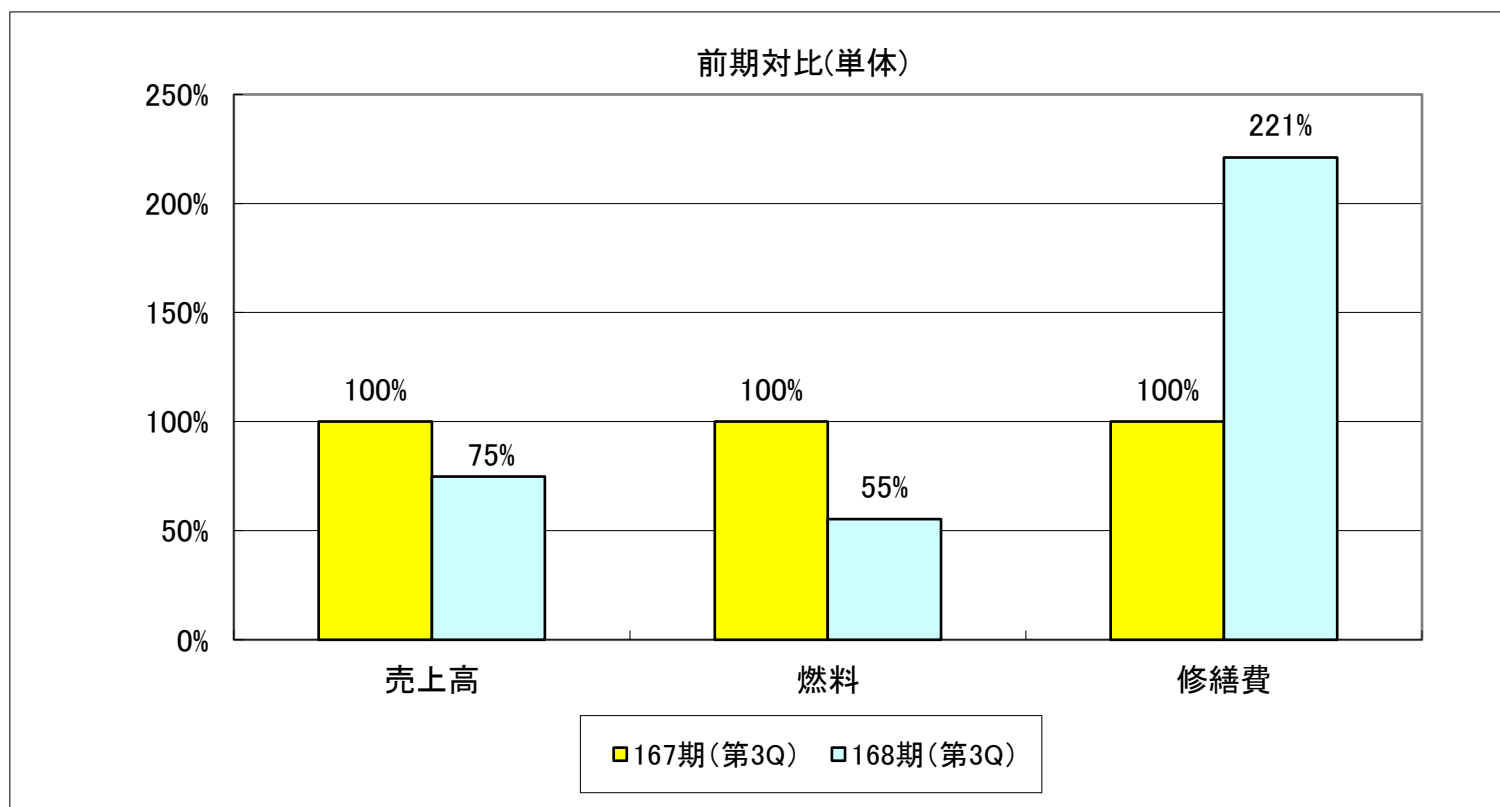


(単位:百万円)



②コスト削減に関する進捗状況

燃料に関しては、売上減少分(75%)を上回り、昨年同期間対比55%の削減となりました。小型貫流ボイラーへの置換などが寄与し、金額では約40百万円の削減効果を実現しました。また、工場の整流化に向けて、設備の再配置、改造などを実施し、昨年同時期対比約46百万円増加の修繕費を計上しました。工場の生産性向上に向けて、着実に歩みを進めてゆきます。



①計画0期（2021年3月期通期連結予想）

2021/3期通期予想については、特に第3四半期以降、売上の落ち込みを当初想定よりも小幅に留めることが出来たこと、またエネルギー効率アップ及びロス削減などのコストダウン効果により、計画対比増収・増益を見込んでいます。

今4月から新しい中期計画「REBORN2023」がスタートしますが、計画の達成に向け、着実に歩みを進めてゆきます。

（単位：百万円）

		168期 2021/3期		169期 2022/3期 (計画1期)	170期 2023/3期 (計画2期)	171期 2024/3期 (計画3期)
		(計画0期)	(業績予想)			
売上高		1,700	1,940	2,400	2,900	3,100
既存事業	委託加工	1,150	1,350	1,607	1,706	1,716
	自販	400	440	409	452	452
新規事業	プリント・倉庫	—	—	100	300	400
	新規資材	—	—	134	292	382
関連会社他		150	150	150	150	150
営業利益		△430	△300	△100	20	120
(減価償却費)		(120)	(120)	(170)	(200)	(200)
EBITDA (償却前営業利益)		△310	△180	70	220	320
経常利益		△350	△200	△70	50	150

②キャッシュフロー

損益の改善、増資の実行及び設備投資の一部が翌期に繰り越しとなったことにより、当初計画比・期末現預金残高は大幅に増加しました。

(単位:百万円)

	168期 2021/3期		169期 2022/3期 (計画1期)	170期 2023/3期 (計画2期)	171期 2024/3期 (計画3期)
	(計画0期)	(予想)			
営業キャッシュフロー	△230	△150	100	250	350
投資キャッシュフロー	△535	△280	△198	△169	△150
(フリーキャッシュフロー)	(△765)	(△430)	(△98)	(81)	(200)
財務キャッシュフロー	59	185	△44	△34	△52
期末現預金残高	795	1,255	653	700	848

(注) 予想には増資分226百万円を含んでいます。

③設備投資

将来に向けた戦略的設備投資は、概ね計画通りに実行しています。
今春からスタートを予定している、新事業(下記③・④)に関しても、順調に設備導入を進めています。

(単位:百万円)

	168期 2021/3期 (計画0期)	168期 2021/2		169期 2022/3期 (計画1期)	主な実施事項
		契約済	支払済		
①コスト削減を目的とした設備導入	139	88	85		貫流ボイラー新設、精練機改造
②既存設備リニューアル及び増設	0	68	52	68	新ボンディング機新設
③新資材開発	182	188	80		新型染色機、検査システム
④プリント機器導入	162	152	10		インクジェットプリント機材費
⑤倉庫改修	0	48	0	80	エレベーター改修、付帯工事費用
⑥システム関連	2	3	3	50	
合計	485	547	230	198	

Ⅲ. 新規プリント事業の展望

丸井グループのプリント事業はお客様ニーズをより実現することにより売上高・数量共に大きく伸ばしてゆく計画です。

現状は丸井織物(株)プリント工場で大半を生産してますが、増販により生産キャパシティが大きく不足することが予想され、それに対応するために2021年春より当社での生産をスタートさせる予定です。

